

いたやなぎ 町議会だより

平成28年
12月定例会

第12号
2017. 2. 10



主な内容	●6人が一般質問	P2～5
	●常任委員会審査他	P6
	●視察レポート他	P7

まちの宝・子どもたち
～大人の仲間入り～

成人を祝う会

町民の声を町政に

第4回定例会一般質問

第4回板柳町議会定例会が、12月2日から8日までの日程で開催されました。12月6日に行われた「一般質問」に、6名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

苦情への対応

問 町民からの苦情への対応は。

(成田町長)

答 担当職員で不足があれば、上司が対応する。それでも納得いただけない場合は、後日改めて詳細に調査して回答し、必要に応じて町長まで報告が上がる。

問 介護施設に関係する苦情の対応は。

(田邊介護福祉課長)

答 県が指定している事業者にかかわる苦情等は、県に情報提供して、県で適切な指導をしている。

土曜授業

問 土曜授業を実施して3年が過ぎたが、今後の予定は。



三戸 玲子

答 (木村教育長) 学校からの報告書と保護者アンケートの結果をもとに協議した結果、来年度は実施しないことにした。

学力テスト

問 学力テストが全国で行われたが、その状況は。

(木村教育長)

答 具体的な数字は公表できないが、国語、算数は全国平均であり、中学校においても国語、数学は、全国平均を上回っている。



今 浩一

都市交流

問 米国ヤキマ市、中国昌平区と国際交流を行っているが、国内での交流についての考えは。

(成田町長)

答 国内における姉妹都市

等に関しては、きつかけやつながり、またタイムミング等が重要である。現在はその状況にないと考えている。

問 国内の都市交流について、町として必要性があると考えているか。

(成田町長)

答 交流を進めることは、町の活性化や町民の意識の向上にもつながる。相手もあるので、今すぐにはできないが、必要である。

人材育成

問 将来を見据え、各分野において必要と思われる人材育成について、町としての考え、取り組みは。

(成田町長)

答 まちづくりは人づくりからと言われる。各種研修等を充実させ、町民の意識や資質の向上に努めたい。

問 人材育成基金とは、どのような基金か。

(成田町長)

答 将来を担う中学生、町民の人材育成ということと、海外派遣研修事業などに使われてきた。最近では直接一般会計で支出され、使われていない。

問 学生以外の海外派遣は近年実施されていないが、現状の育成事業のほかに計画はあるか。

(成田町長)

答 町民海外研修は、十年近く実施したので、一区切りとして一旦終了している。これにかわる事業として、他の人材育成事業に予算を割いている。

問 人材育成に使われている予算の割合は。

(村上企画財政課長)

答 約一千万円で約0.2%である。

問 少ないのではないかと。人材育成に使う予算を思い切った考えで進めるのは難しいものなのか。

(成田町長)

答 予算が限られており、人材育成のほかに産業振興、福祉関係、教育関係なども重要である。今後人材育成にかかる予算を考えたい。

ふるさとセンター

問 ふるさとセンターの今後の展開は、現状維持か、それとも将来に向けての構想があるのか。

答 (成田町長)
今後は、ふるさとセンターと中央アップルモールを連携し、相乗効果を図りながら新しい観光スポットとして開拓したい。

問 新たな施設、遊具等に関する取組みは。

答 (成田町長)
具体的な施設の配置計画などは持っていないが、今後検討したい。

問 コテージに長期滞在した方等に、特別な特典、割引等を行っているか。

答 (葛西ふるセン所長)
ポイントカードを発行し、青柳館での食事、無料宿泊券などに交換できる。



成田 陽光

子育て支援センター

問 保育所体験、育児情報の発信の役割もある子育て支援センターの状況は。

答 (成田町長)
昨年度の利用実績は、年間245日の開放日で、板柳第一保育所鶴住で288組、小阿弥保育所鶴住で142組が利用。町内の医療機関や商店に活動予定を掲載したポスターを掲示、町民祭で活動紹介や体験コーナーの実施、さらには町広報等に行事を掲載するなど、情報提供している。

問 利用しやすくすること、人口増加につながると思う。年間約1,400万円の予算計上されており、これまで以上に利用促進に向けた活動が必要では。

答 (成田町長)
人口減少対策や子育て世帯の支援策になるので、利用促進を進めたい。

問 開放日と活動日の設定を合わせて、第一が1日平均1.2組、小阿弥は0.58組である。広報活動をさらに増やしてみたい。

答 (成田町長)
町の広報等を通して、参加者を募集したい。

りんご灯まつり

問 山笠、板柳のりんご灯まつりのPRなども兼ね

ね、祭りを通じて近隣の町村と交流してみたい。

答 (成田町長)
人口減少の影響から山笠の担ぎ手も少なくなり、各団体ではその確保に大変苦慮している。実行委員会の考えもあるが、山笠を他の町村で運行したり、他町村の団体に山笠運行をお願いすることは、今のところ考えていない。

問 例えば他町の祭りの手伝い等、小さいところからでもできる話だと思うので、町として、これを推進できないか。

答 (成田町長)
他町村との交流はもちろん大事である。今の提案のイメージについて、今後成田議員のお話を聞きたい。



成田 肇

農業経営安定化策

問 国では、農業経営の新たなセーフティネットとして、収入保険制度の導入に向けて検討を進めている。その内容、制度、これに向けた当町の取組は。

答 (成田町長)
全ての農業経営品目を対象に、農業経営全体として加入する仕組みが考えられていて、個々の農業者の収入を正確に把握する必要があるので、青色申告者があることから、青色申告者を対象として検討がされている。保障内容は、過去5年間の平均収入を基準収入とし、基準収入の9割を下回った場合に、その下回った額の9割を補填する内容で検討されている。また、その他制度の農業共済など、他の収入減少を補填するような類似制度との関係についても検討がされているということである。詳細が判明次第、農業者の皆様へ情報提供をしたい。

問 現在、青色申告をしている農家の数は。

答 (田沢産業振興課長)
税務課、五所川原の税務署等に情報収集したが、正確な数字は出せないとのこと、青色申告者数をつ

かんでいない状況である。青色申告者の割合は少ないと思うが、今後の対策は。

答 (成田町長)
まずは対象になる青色申告の農業者数を把握する必要がある。この制度に加入できるように、研修などを通して、増やしたい。

問 県では、収入制度の導入を見据えた経営セミナーの出席者を募集している。この情報提供の状況は。

答 (田沢産業振興課長)
その情報提供は行っていないが、その他にも研修等があり、認定農業者協議会等を通じて随時お知らせしている。

問 収入保険制度は、農業災害補償制度から収入保険制度に移行することも考えられている。農業災害補償制度は、町で行っている果樹共済のことが。

答 (田沢産業振興課長)
まさしく農業共済がそれに当たるかと思う。そのほか収入補填の制度は、米のならし対策、果樹に関しては経営安定対策などの制度がある。

商店街の活性化

問 町商工業者が部会員として選出された板柳町商工業振興対策会議が設立されていると思うが、その状況は。また、中心商店街に活気を取り戻すための町としての具体的な施策は。

答 (成田町長)
商工業の振興を目的に、市街地の整備や商店街の改善について総合的、一体的な対策を審議する場として、板柳町商工業振興対策会議が設置されている。現在は活動していないが、必要に応じて会議を開催し、商工業の振興に努めたい。主な活動は、会議の開催を初め、買い物動向調査、アップルモールの利活用による商店街振興の提言などをまとめた。商店街振興のため、今後は、ふるさとセンターとアップルモールを連動させ商店街の振興につなげたい。

問 商店街の活性化、商店街の活性化のために、これを再開して活動しては。

答 (成田町長)
ぜひ活用しながら町の魅力ある商工業の振興策を進めていきたい。

問 町の活性化について、小学生、中学生に対して、例えば、20年後の板柳町でも題して絵を描いたり、作文を書いてもらい、それを参考にしてみたい。参考にしてみたい。参考にしてみたい。参考にしてみたい。

答 (木村教育長)
子供たちに20年後の夢や、町に対する期待を表現してもらおうことは、今現在は行われていない。

問 公共施設の点検



葛西 幸男

問 昨年近隣の小学校の給食室でガス爆発による死亡事故が発生した。事故防止のための町の対策は。

答 (木村教育長)
LPガスは法定検査が義務づけられ、これに基づき検査している。また、毎月ガス料金検針時に、ガス漏れがないか確認している。

空き缶のプルタブ等回収

問 空き缶のプルタブ、ペットボトルのキャップの回収の状況は。

答 (成田町長)
板柳町社会福祉協議会において引き受け窓口を開設していると聞いていますが、町では実施していない。

問 これらを集めると、車椅子等の寄附があるようだが、当町でも高齢者が多く、活用すべきでは。

答 (成田町長)
リサイクルにもなるので、社会福祉協議会と協議しながら、取り組みたい。

ゆるキャラ

問 各地でゆるキャラが多数作られ、子どもたちに喜ばれ、よい宣伝になっているが、当町の計画は。

答 (成田町長)
ご当地キャラクターについては、マスコミ等の影響もあり、注目度大きい。特に全国的に有名になっているキャラクターを抱えている自治体では、自治体の知名度が上がり、誘客など

観光面での振興や、産業の振興などにも生かされている。もう少し時間をかけて考えたい。

問 リンゴのゆるキャラをつくって、全国に板柳町をPRしてみたい。

答 (成田町長)
宣伝効果等理解しているので、今後考えたい。

照会したが、当町の回答は。

答 (成田町長)
その段階でまだ案が示されておらず、意見なしと回答した。

TPP対策

問 TPPや米の生産調整見直しの対策として、農家の減収補填のため、収入保険が導入されるが、このことについての備えは。また、国内外の農産物の販売促進に充てるチェックオフ制度の導入が検討されているが、考えは。

答 (成田町長)(※1)
同制度は国において今後本格的な検討がなされる。推移を注視したい。

問 収入保険制度では青色申告の促進が重要であるが、実勢に沿った対応や指導が必要では。

答 (成田町長)
研修などを通して増やしたい。

子ども医療費助成

問 当町の子供の医療費助成は、通院及び入院ともに小学校までである。少

衆院選区割り

問 本県小選挙区が1減になるが、町長が挙げる政策には、国政に関わるもの等があり、選挙区の区割りはかなり重要である。この状況をどう考え、行動しているのか。

答 (成田町長)
区割り改定について、今後の推移を注視したい。

問 県が、県内市町村に区割りに対する意見を

(※1) 収入保険制度に関する答弁は3ページ4段目の答弁と重複しており、紙面の都合上割愛いたしました。

子化に直面する多くの自治体の子育ての環境改善をしており、当町も中学校まで拡充すべきでは。

(成田町長)

医療費助成のほかに乳幼児のインフルエンザ予防接種事業を初め、各種子育て支援を実施している。今後も継続し、子育て環境を整えたい。

中学校まで拡充すると財源はどの程度必要か。

(大井健康推進課長)
約九百万円必要である。

国民健康保険

国民健康保険の運営が県と市町村による共同運営になるが、初年度からの保険料統一はしないという方針が示された。このことによる影響は。

(成田町長)

被保険者の保険料負担の急変を招くおそれがあり、それは避けなければならぬ。今後も共同運営に関してさまざまな課題等に適切に対応しなければならぬ。

先日開催された市町村連絡会議で、一元化はしないという方針を出席し

た方は言われたことと思うが、当町は誰が出席したか。

(成田町長)

私が出席した。現制度と新制度に関して、負担の想定は。

(大井健康推進課長)
県では国保事業費納付金というものを新しく作る。この納付金を全額町では県

のほうに支払うこととなる。各市町村、医療費水準、また所得水準が違うので、現在協議している。

板柳中央病院

看護師の接遇の教育の状況は。

(成田町長)

全職員を対象に、年2回研修を実施している。

9月以降、来院患者に対して不適切な対応をした看護師を処分したこと

はあるか。

(田澤総務課長)

処分をしたことはない。院内で同様に不適切な対応をした看護師に対して、口頭注意などの処分をしたことは。

(木村中央病院事務長)
院長からの口頭注意

文書訓告はある。

標榜診療科以外の患者を診察することは違反である、以前事務長から口頭で述べられたが、今も同様の考えか。

(木村中央病院事務長)

医療法上では、届出を行い診療科を表示し、それに必要な医師を配置することになっていく。診療科がない場合は、適切な病院等の紹介をしている。

標榜診療科以外に属する疾患でも、患者が受診を望む場合は正当な事由なき拒否はできないと、医師法で明記されているが、事務長の考えは。

(木村中央病院事務長)

判断は医師がするため、私には答えられない。

ふるさと納税

ふるさと納税の実績と記念品の送付実績は。

(成田町長)

昨年度実績における寄附件数は198件、寄附額は約1,110万円、返礼品の支出額が約270万円。また、今年度においては、11月25日現在の寄附件数は

66件、寄附額は約520万円、返礼品の支出額は約190万円。

本年度及び昨年度において、公開されている以外のものに対応したことはあるのか。

(石澤税務会計課長)

今年度、旅行券等を不要とした方がいたため、町の物産として青天の霹靂を差し上げたものが1件ある。

特別養護老人ホーム入所待機者

特別養護老人ホームへの入居条件が厳しくなり、待機者が減ったと推察されるが、当町の状況は。また、待機者から外れた方への対応は。

(成田町長)

昨年度と一昨年度の同時期を比較すると、約2割程度減少している。入所希望の方が緊急に入所を要する場合は、地域包括支援センターの介護相談等を受け、有料老人ホーム等入所後、空き状況により施設の入所判定会議を経て、特別養護老人ホームに入所する場合もある。今後も必要とする

介護サービスの提供、介護相談等の充実に努めたい。

県立高校再編

高校再編の意見交換会の状況は。

(木村教育長)

高等学校改革推進計画について、西北地区の学校の配置の意見交換をしている。

これまでの過程、議会への説明の有無は。

(木村教育長)
まだ報告していない。

県から計画について説明を受けた。板柳高校はこの地域の高校としては周辺地域からもすっかり定着し、他地区からの生徒も多い実情を理解し、現実的な再編になるようお願いした。

引きこもり対策

当町における児童生徒及び社会人のひきこもりの状況把握及び対策は。

(木村教育長)

不登校傾向を含めて7名。保護者と連絡を密にし、学級担任と養護教諭が連携し、対応している。

(※2) ふるさと納税：自分が選んだ自治体に寄附すると、2千円を超えた部分が所得税・住民税から控除される制度(上限あり)

任 委 員 会 常 委 員 会 審 査

総務産業厚生 常任委員会

◎ふるさとセンター

■コテージ

コテージ宿泊料金を値下げした効果は。

◎今年度11月末現在も昨年より約7%ほど増えて、約二百名ほどの増加となっている。

■観光農園としての活用

◎ふるさとセンターを観光農園として活用していく件について、具体的案は。

◎農家民泊など、農業体験者の受け入れを実施している方々と連携して、満足度の高い体験型の観光振興を提供したい。町の特産のリンゴを生かした観光振興を描いている。

■交通の利便性

◎国道339号バイパスから直接つなぐ道路を整備しては。

◎既存の踏切が近くにあることから、難しいところである。

◆意見書

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
採 択

福祉建設文教 常任委員会

◎学校設備

■給食室補修時の対応

◎給食室補修工事の際、給食を作ることが出来ないことなどがあつたか。

◎夏休み中の工事としたが、工期の都合で、約十日、給食を一時休止し、家庭から弁当を持参してもらうようお願いした。

■体育館電球交換

◎体育館の電球が切れ、製造終了になったものがある。と聞いているが、LED電球に交換するほどの程度の費用がかかるのか。

◎具体的にLED電球に替えるという計画がないため、詳細は不明である。今回は、時間がかかったが、従来型のものを探して対応した。

◎更生医療給付費

◎更生医療給付費の内容は。

◎障害者自立支援等に関する部分で、障害を軽くしたり、回復するための医療費を、町で負担するもの。

◎教育費補助金

◎青森県地域で学校を支える仕組みづくり推進事業費補助金の内容は。

◎各学校と地域の住民の仲を取り持つコーディネーターを配置しているもの。

◎下水道マンホール

◎板柳町の下水道マンホールの蓋は、決まった模様になつているのか。

◎当初から決まったマークを継続して使っている。

◎健康宣言

■健康宣言の掲示

◎各団体から健康宣言を集め、役場庁舎内で掲示しているが、内容は更新していく計画なのか。

◎最低一年は掲示し、その後のことは今後検討したい。

■健康宣言の今後の方針

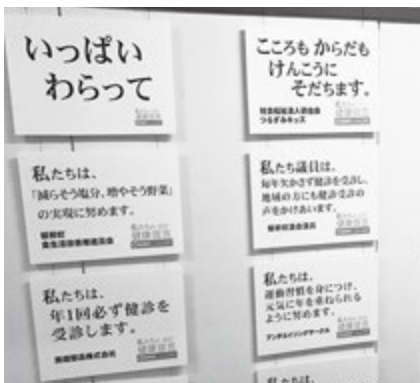
◎今年初めて健康宣言を行ったが、毎年継続して事業を行うのか。

◎宣言ということだけでは、来年度以降計画はないが、健康づくりに関する事業を各種行いたい。

◎土曜授業の見直しについて

◎三年目にして土曜授業をやめるとのことだが、一年ごとにその経過や効果を測っていたのか。

◎毎年アンケートなどで、意見を聞いていた。一年目は継続を望む声が多かったが、二年目になると、三連休と重なる部分は考慮して欲しいなどという声もあつた。



掲示された健康宣言

議会を傍聴しませんか

次の定例会は3月です

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。なお、傍聴できる人数は51人となっております。

<議会日程のお知らせ(予定)>

※開催時間はいずれも午前10時です。

月 日	内 容	
3月6日(月)	本会議	委員会報告、提案理由の説明等 予算特別委員会の設置
3月9日(木)	本会議	一般質問
3月10日(金)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
3月13日(月)	特別委員会	予算特別委員会
3月14日(火)	特別委員会	予算特別委員会
3月15日(水)	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決

視察・研修レポート

町村議会広報研修会

昨今、議会活動に対する住民の関心と理解を深めるための広報紙づくりが求められています。この実現のため、東京都千代田区「シエーンバツハ・サポー」において、議会広報実務担当者を対象に、研修が開催されました。

研修会には全国から約二百町村議会が参加、当委員会からは、成田陽光委員長、わたくし、今浩一副委員長、葛西幸男委員、事務局田中主査が出席しました。

最初の科目は、「わかりやすく、伝わる広報紙の表記」です。合同会社耕文舎代表の赤羽博之氏が講師を務めました。講義では、重複を省くこと、具体的に書くこと等、実践的な講義を受けました。

次の科目は、「ドラックカーに学ぶ十のキーワード」。月刊総務編集長の豊田健一氏が講師を務め



ました。経営学者ピーター・ドラックのコミュニケーションに関する理論を、編集に活かすという、ユニークな切り口の講義で、意見、情報の伝え方を、改めて考えるきっかけとなりました。

最後は、議会広報コンクール優秀受賞賞紙から学ぶとし、岩手県金ケ崎町、山形県川西町の紙面を例にあげての講義を受けました。

この研修で学んだ事を生かし、多くの町民の方々に「伝わる・読みたいくなる」議会だよりを更に目指したいと思います。

(副委員長 今浩)

町村議会議長全国大会

去る十一月九日、東京のNHKホールにおいて、町村議会議長全国大会が開催されました。来賓の安倍総理大臣は、「地方の活力なくして日本の活力なし。地方の未来を切り拓いていくことなくして、日本の未来はない。」と述べ、地方の意見を受け止めながら、地方の努力を応援していく姿勢を示されました。

その後、議事に入り、要望他三十件を満場一致で決定しました。

また、この全国大会と併せて毎年度実施している研修視察は埼玉県川越市にある「蔵造りの町並み」や造幣局さいたま支局、東京都千代田区大手町にあるパナグループ本部では人工光や水耕栽培技術による植物工場を視察しました。

(議長 葛西 清人)

議会の動き (10月～12月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
11月11日	西北津軽郡町議会議長会協議会 葛西議長	11月2日	議会だより編集特別委員会
11月12日	町例月出納検査(監査) 北畠議員	11月4日	国民健康保険運営委員研修会 成田(陽)議員
11月17日	議会だより編集特別委員会	11月7日	議会運営委員会 (町諸案件等)
11月17日	福祉建設文教常任委員会協議会 (町諸案件等)	11月9日	議長全国大会・西北津軽郡町議会議長会視察研修 (~11日) 葛西議長
11月19日	議員全員協議会 (町諸案件等)	11月14日	町例月出納検査(監査) 北畠議員
11月19日	議会運営委員会 (臨時会案件)	11月22日	弘前地区環境整備事務組合議会定例会 佐藤議員
11月21日	議会だより編集特別委員会	11月25日	津軽広域連合議会定例会 成田(陽)議員
11月21日	議員全員協議会 (臨時会案件)	11月28日	弘前地区消防事務組合議会定例会 今議員
11月25日	議会運営委員会 (定例会案件)	12月2日	議員全員協議会 (定例会案件)
11月25日	町村議会広報研修会 成田(陽)議員、今議員、葛西(幸)議員	12月6日	議会運営委員会 (定例会案件)
11月26日	正副議長・事務局長研修会 葛西議長、長内副議長	12月7日	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
11月28日	臨時会	12月6日	本会議(一般質問・6人)
11月28日	議会だより編集特別委員会	12月7日	総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)
		12月7日	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)
		12月8日	本会議(委員長報告、採決、閉会)
		12月12日	町例月出納検査(監査) 北畠議員
		12月21日	西北五広域福祉事務組合議会臨時会 葛西(幸)議員

まちの宝・子どもたちが、今年も大人の仲間入りをしました。

46年前の私は、どうだったか。小さい夢（目標）でしたが、かなえたものもあつたと思っています。

「成人を祝う会」では、全員が一つの輪をつくり、それぞれの夢（目標）を言い、つなげました。

失敗を恐れるな、あきらめるな。

全員の夢（目標）が叶うようご期待します。

（委員 葛西 幸男）

【発行責任者】

議長 葛西清人

※第13号発行予定は5月12日頃です。
議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

一目で分かる審議結果

◆第2回臨時会

議案	結果
平成28年度板柳町一般会計補正予算 (中学校改築設計委託料4,996万1千円の増額)	全員同意

◆第4回定例会

議案	結果
板柳町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	全員同意
青森県市町村総合事務組合規約の変更について	全員可決
板柳町農業委員会の委員等の定数に関する条例の制定について	全員可決
板柳町農業委員会委員候補者選考委員会条例の制定について	全員可決
板柳町議会議員期末手当支給条例の一部改正について	全員可決
板柳町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳町職員の給与に関する条例の一部改正について	全員可決
板柳町税条例の一部改正について	全員可決
板柳町国民健康保険税条例の一部改正について	全員可決
指定管理者の指定について(板柳町公民館)	全員可決
指定管理者の指定について(板柳町老人憩の家)	全員可決
平成28年度板柳町一般会計補正予算他7件	全員可決
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	全員可決

第4回定例会において、板柳中学校改築特別委員会を設置しました。

委員は議員12名全員とし、委員長に佐藤洋治議員、副委員長に三戸正市議員が互選されました。